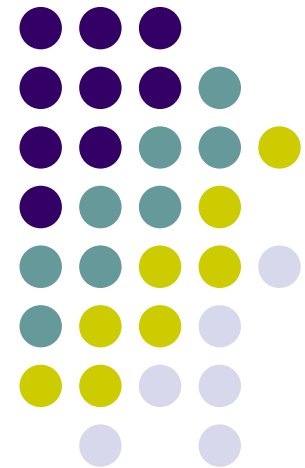


平成24年3月期第2四半期累計
決算説明資料

大村紙業株式会社

大阪証券取引所
JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部および営業所
: 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・
仙台・京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉・
会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所



事業の状況

- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の原発事故、米国の景気不安や欧州での財政不安により依然として先行きの不透明な状況が続いております。
- 当業界におきましては、サプライチェーンの復旧に伴って段ボール需要も戻りつつありますが、円高の影響もあり、生産量は前年並みの水準となりました。
- 生産量につきましては、段ボールシート29百万 m^2 (前年同四半期比4.9%減)、段ボールケース20百万 m^2 (前年同四半期比0.4%増)となりました。
- 当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,473百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。利益面につきましては、経常利益186百万円(前年同四半期比28.8%減)、四半期純利益86百万円(前年同四半期比41.4%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は大阪証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

平成24年3月期第2四半期累計 業績概要①



売上高は前年同四半期比5.7%減となりました。売上高の減少および原油価格の高止まりや修理費等の増加により経常利益は前年同四半期比28.8%減、四半期純利益は前年同四半期比41.4%減となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成23年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成22年4月～9月)	前年同四半期比
売上高	2,473	2,621	-5.7%
営業利益	183	256	-28.6%
経常利益	186	262	-28.8%
四半期純利益	86	148	-41.4%



業績概要②

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ46百万円減少し、6,253百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。負債は、前事業年度末に比べ59百万円減少し、2,014百万円となりました。その結果、純資産は4,239百万円となりました。

(単位:百万円)

資産の部	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月末)	前事業年度末 (平成23年3月末)
流動資産	3,866	3,886
現金及び預金	2,286	2,287
受取手形及び売掛金	1,181	1,280
たな卸資産	330	256
その他流動資産	67	62
固定資産	2,386	2,412
有形固定資産	1,990	2,010
無形固定資産	15	16
投資その他の資産	380	386
資産合計	6,253	6,299

(単位:百万円)

負債・純資産の部	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月末)	前事業年度末 (平成23年3月末)
流動負債	1,435	1,490
支払手形及び買掛金	1,152	1,155
未払法人税等	68	120
その他の流動負債	214	214
固定負債	579	583
退職給付引当金	202	212
役員退職慰労引当金	359	354
その他	16	16
負債合計	2,014	2,074
純資産合計	4,239	4,225
負債・純資産合計	6,253	6,299



業績概要③

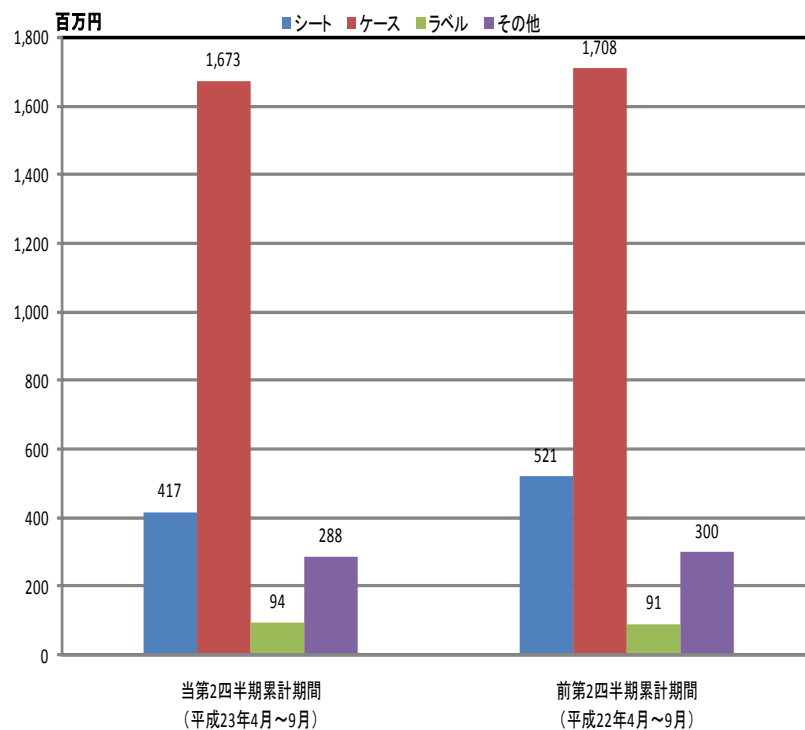
(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成23年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成22年4月～9月)
営業活動による キャッシュ・フロー	115	248
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 43	▲ 46
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 72	▲ 48
増減額(減少:▲)	▲ 0	153
現金及び現金同等物の 期首残高	2,258	1,878
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,257	2,032

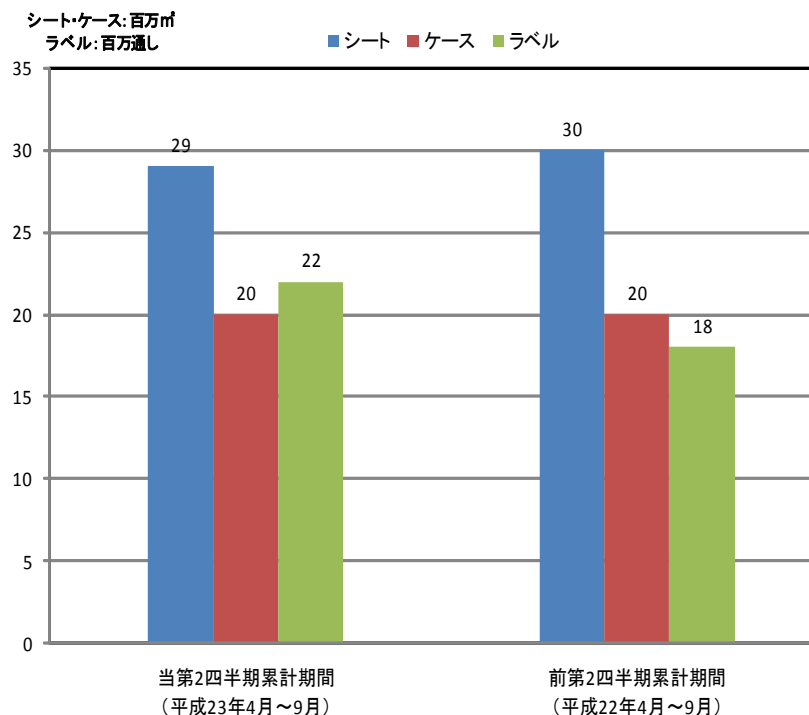


品種別売上高及び生産実績

ラベルは売上増加、シート・ケース・その他は売上減少となりました。



ケース・ラベルは生産増加、シートは生産減少となりました。



今後の見通し

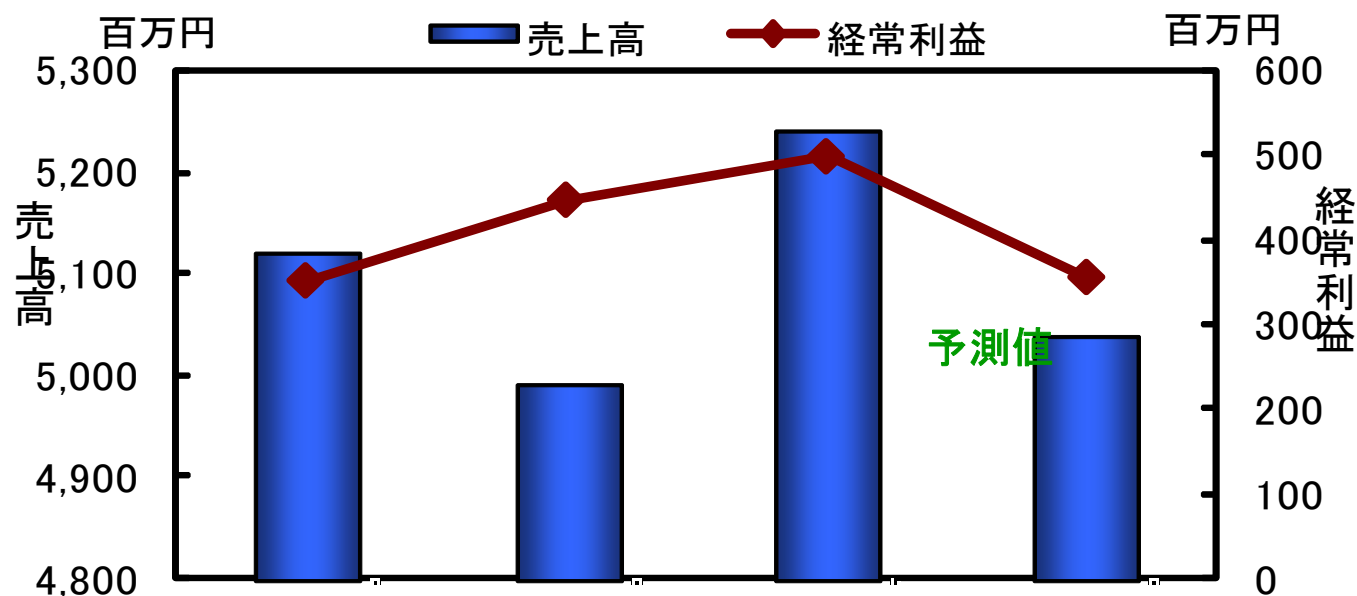


- 平成24年3月期の見通しにつきましては、東日本大震災の影響もあり、国内経済も厳しい雇用情勢や個人消費の低迷等により当面は厳しい状況が続くと思われま
- 当業界におきましても、国内はもとより輸出関係の段ボールも回復が遅れてくると思われま
- このような見通しのもと、当社の平成24年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,038百万円(前期比3.9%減)、営業利益363百万円(同25.1%減)、経常利益357百万円(同28.3%減)及び当期純利益193百万円(同11.8%減)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



売上高および経常利益の見通し

※売上高5,038百万円(前期比3.9%減)、営業利益363百万円(同25.1%減)、経常利益357百万円(同28.3%減)及び当期純利益193百万円(同11.8%減)を計画しております。

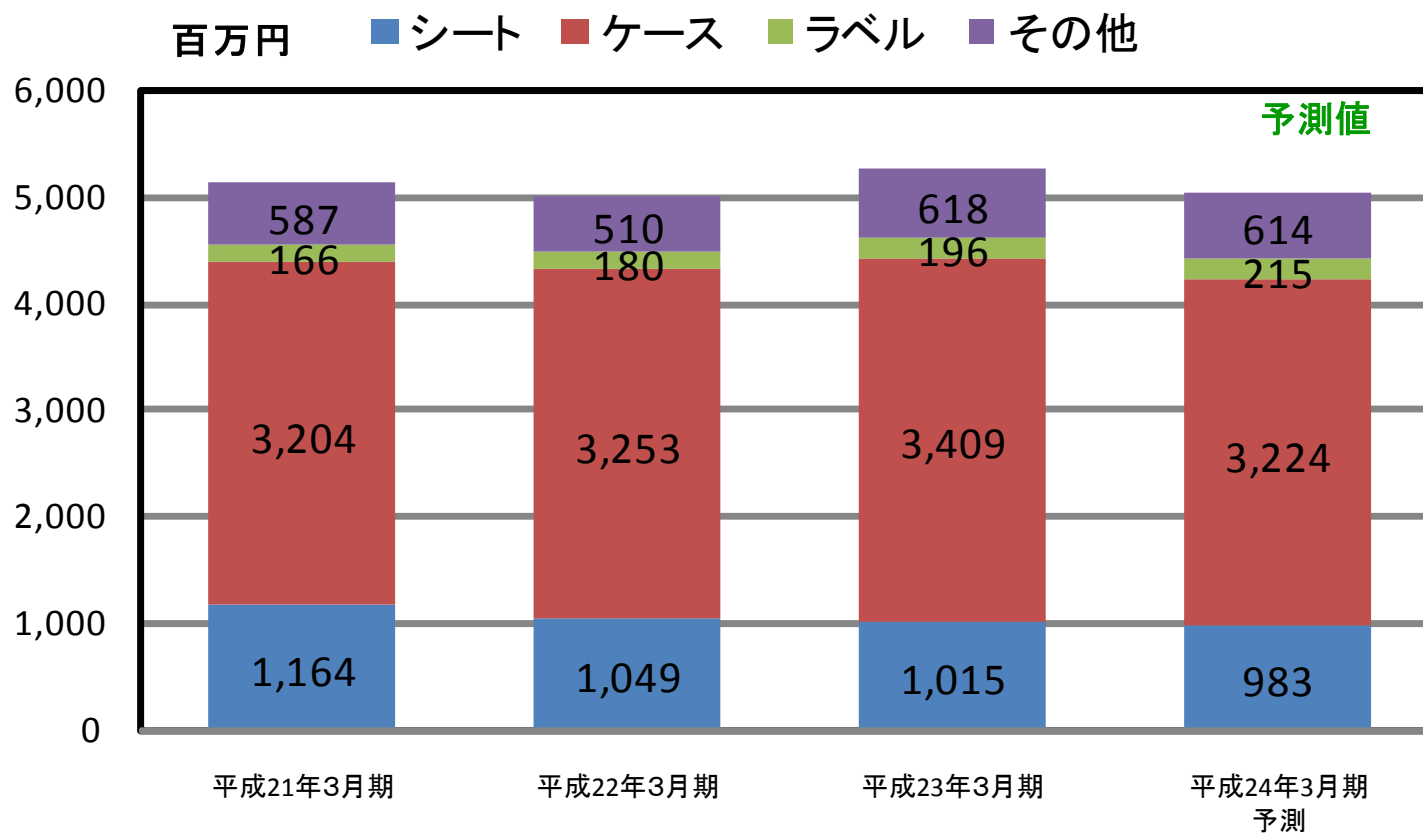


	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期 予測
売上高	5,121	4,993	5,240	5,038
経常利益	353	448	499	357



品種別売上高の見通し

※シート3.1%減、ケース5.4%減、ラベル9.3%増の見込みであります。





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいきます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。